

無料法律相談
 11月2日(火)
 12月7日(火)
 市川市役所内、日本共産党
 控え室にて。予約制です。
 事前に、ご連絡ください。

谷藤利子の市政報告

メールアドレス: tanifuji5948@hotmail.com 04年10月20日発行 NO27



日本共産党
 市議会議員
 谷藤利子

行徳で不足している公共施設や交通機関など、切実な要求を実現させましょう

行徳地域は人口15万5千人。まだまだ人口が増え続け、新たな公共施設建設やそれを結ぶ交通ルートが必要で、今市川市では行徳地域にある公共用地の今後の土地活用や街づくりの検討が行われています。このなかで切実な要求を実現させる運動を強めましょう。

石垣場・東浜地域、残土の山から水と緑、教育・福祉の拠点に

残土の山、(仮称)行徳富士地域の土地利用変更案がやっと固まり、来年度都市計画変更をすることになりました。全体48haのうち、下水処理場と水と緑のゾーン、地権者の土地利用ゾーンのほかに、3、3haを市川市が買い取り、地域に必要な公共施設を入れることとなります。



市川市が買い取る土地には、妙典地域の人口急増に伴う小学校建設のほか、高齢者、障害者、乳幼児の福祉施設などの検討が始まっています。特別養護老人ホームやショートステイ等、切実な住民要求実現にむけ、これから働きかけましょう。

塩浜駅周辺のまちづくりは自然再生と一体で

塩浜駅前には工業専用地域と市有地が広がっています。この地域は三番瀬再生計画案で位置づけられたように、自然再生事業と一体のまちづくりが求められています。市川市はこの地域の街づくりの基本計画案を今年の11月頃までに作り、来年3月頃まで市民からの意見募集をして基本計画として完成させ、

来年4月以降には事業に着手したいとしています。工業専用地域は地権者である工業会の意向を重視することになるため、経済効率が重視されます。首都圏のオアシスとなるような街づくりの提案や要求をしつかりとしていきましよう。

福栄2丁目市職員住宅跡地利用は地元要望実現に全力を

福栄2丁目には市職員住宅として昨年まで使われていた施設が残っており、その一部を地元自治会や老人会が倉庫や地域コミュニティの場所として使用しています。地元の4自治会から、この跡地に福祉の複合的な施設利用の要望が出されており、市役所内の「公有地活用検討委員会」で検討しています。

検討内容は、デイサービスセンター、知的障害者作業所、保育園分園、地域ケアアシスタムの活動拠点などです。財政面も含めて時間をかけて検討

することになっています。地元の要求実現のために、引き続き強い働きかけをしていきましょう。

広尾防災公園に地域コミュニティの場を

江戸川区に抜ける今井橋のふもと、広尾地区に石原製鋼跡地が錆びれた建物ごと残っています。市川市は、去る9月議会でのこの跡地を防災公園として買い取ることを提案し、可決しました。敷地内は公園のほか、消防出張所や防災倉庫、地域のコミュニティ施設建設も視野に入れることになりました。地域に必要なとする施設実現のために、地元の皆様と力を合わせましよう。

コミュニティバス、来年度導入にむけ500万予算化

浦安市の「お散歩バス」など小型のコミュニティバスが好評です。行徳でもぜひ実現をの声を取り上げ、党と後援会で塩浜にある京成トランジットバスに申し入れし、議会でも実現を迫るなか、市川市は、行徳地域と北西部への来年度中の運行を明らかにしました。去る9月議会では、500万円の補正予算を組み、市民の意向、ルート、採算面の検討をすることになりました。行徳地域では市民病院や行徳支所などの公共施設を結んで欲しいと要望が出されています。改めて実現に向け住民のみなさんと働きかけていきましょう。

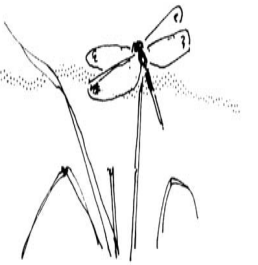


武蔵野市のムーバス

公立保育園2園を民間に委託

やるべきは、待機児解消などの保育ニーズに応える体制強化です

9月市議会



定例9月市議会で市川市は、来年4月から公立保育園(市川保育園と行徳第二保育園)の運営を民間の社会福祉法人に委託する(指定管理者制度の導入)議案を提出しました。これに対しては多数の議員から多くの問題が指摘されましたが、賛成多数で可決されました。

日本共産党市議団は、多様な保育ニーズに応えるためとする理由と運営の委託化に整合性がないこと等から、関連の補正予算には組み替え動議を提案し、討論をして、原案に反対しました。

「父母会は反対」と全議員にメール

「初めてメールさせていただきます。先日、委託予定先の考え方を聞く場に出席して、ますます不安が募ってきました。委託が避けられないならせめて子供たちにも安心して暮らすように、市と一年間話し合ってくださいましたが、これまでの話し合いやこれまでの努力が何だったのか本当に悲



しくなっています。」

これは保護者から議員に寄せられたメールです。委託先は市内の民間保育園がどこも手を上げなかったために、誰も知らない市外の法人でした。

市川市は、保護者の不安があまりにも大きいことから、予定を一年延ばして保護者と話し合いを続けてきたのでした。しかし、不安は解消するどころか、ますます募っていることがはっきりしました。

人と人との信頼関係で積み上げてきたものを断ち切る道理はない

保育は人と人との信頼関係で積み上げていくものです。これをばつさり寸断して、職員を総入れ替えして父母や子供たちを不安に

年々減っていく公立保育園の正規職員数

	2002年	2003年	2004年
保育士	342人	338人	333人
栄養士	13人	12人	12人
看護師	9人	8人	7人
調理員	61人	55人	52人
合計	425人	413人	404人

陥れて、多様な保育ニーズに応えるため、子育て支援の充実などと言える道理があるでしょうか。

保育ニーズに応えるというなら体制強化で待機児解消を

市川市では現在保育園に入所を待っている待機児が580人もいます。保育ニーズに応えるなら、何より職員の増員等の体制強化で待機児解消なども含め、切実な市民要求に応えるべきです。市川市が行財政改革ですすめている徹底した職員削減と民間委託化は、福祉や教育の分野では馴染まないことを真剣に受け止めるべきです。

介護保険、安心して利用できる制度にと一般質問

介護保険制度が始まって5年、当初から心配されていた保険料、利用料の負担増の問題や施設の不足の問題が今でも大きな課題です。

谷藤市議は、政府が来年度、さらなる負担増などの見直しをしようとして準備しているなかで、市川市としては、利用者の立場に立った負担軽減や施設整備をすすめる立場を堅持し、市民要求にさらに答えるよう求めました。

市川市が昨年行なった市民意識調査で、介護保険制度をよくするために望むものの順番は、

保険料・利用料の負担の軽減、特別養護老人ホームなどの施設の増設、家族介護の負担軽減でした。

日本共産党は制度が始まる時からこの問題を取り上げて、国会や市議会でも取り上げ、市川市議会でも保険料利用料軽減の決議をあげるなどして、減免制度を勝ち取ってきました。

市独自で行っている保険料利用料の減免拡充を

保険料減免は全国の700の自治体で、利用料減免は908の自治体で実施されています。

しかし、国の見直しの方向は、保険料も利用料もさらなる引き上げの方向です。

谷藤市議は、利用者の要求に答えて、国に対して負担増をやめるよう働きかけると同時に、市独自の努力をさらに拡大する

よう求めました。

遅れている特別養護老人ホームなどの施設増設を

また、市川市内で特別養護老人ホームの入居を待っている820人も、待機者の家族の要求に答えて増設に努めるべきだと求めました。

市川市の介護保険料・利用料の減免実績

	介護保険料減免実績		ホームヘルプサービス利用料減免実績	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
2001年	109	1,891,510	667	2,839,651
2002年	139	3,114,640	1449	5,668,403
2003年	128	3,278,220	2059	6,603,429

これに対して福祉部長は、「負担軽減については国の動向を見極めて検討する。施設整備については市の事業計画達成に向けて努力を」と答弁しました。